

ゴマフボクトウ (Oriental leopard moth)

Zeuzera multistrigata leuconota



オスの成虫
(メスの成虫は前ばねの長さ20~28mm)



枝にトンネルを掘って中を食べる幼虫
(大きくなると35~40mm)

特徴

成虫は白い羽に「ゴマのような斑点(ふ)」があり、体はてかりのある濃い藍(あい)色です。

幼虫の体は赤く、茶の枝や幹に穴をあけて中に入って食べ進みます。穴から外へフンを出します。

成虫は夏から秋に発生して卵を産み、2年かけて成虫になります。

被害と対策

幼虫が枝に入ると、先が枯れます。幼虫は大きくなると木の根元の近くから幹に入り、トンネルを掘りながら中を食べるので、若い木や弱った木は枯れることがあります。幼虫を見つけたら、捕まえて茶園の外に捨てましょう。